

こんにちは
4月号

酒井まさえ



2026年4月8日 連絡先日本共産党杉並区議団控室 3312-2111 (2320) 区議会 3312-2610
sakaimasae.0507@gmail.com 090-9325-5676

です

岸本聡子区長提案の新年度予算

賛成多数で可決

共産党の提案が区政の前進へ貢献

3月19日に開催された杉並区議会第1回定例会本会議において、岸本聡子区長が提案した2026年度(令和8年度)一般会計予算が可決・成立しました。

2026年度予算は

区民の暮らしと福祉を支える

3月18日、予算特別委員会の意見開陳に日本共産党からは、富田たく議員が立ち、岸本区政の新年度予算が、区民の暮らしや事業を支え、福祉・教育・防災・区民参画を前進させる内容となっていることを評価しました。意見開陳の一部を紹介します。

新年度にポイント還元&

プレミアム商品券事業が実施へ

物価高騰が長期化するなか、区民の購買力向上や商店の売上増加につながる支援として、キャッシュレスポイント還元事業に加え、共産党区議団が提案してきた紙のプレミアム付き商品券事業が来年度予算に計上されたことを評価し、今後も継続的な実施を求めました。

福祉向上も前進

また、福祉向上の観点から、東京都の補助金を活用した



予算案を提案した岸本聡子区長

意見開陳の全文
はこちらから



事業が、前田中区政下の2022年度と比べて岸本区政の新年度予算では2倍近く(歳入総額比2・96%から5・88%へ)に増加していることについて、福祉の充実と歳入確保の両面から重要な前進であると評価しました。

とりわけ、共産党区議団が提案し、岸本区政のもとで2023年に実現した「高齢者の補聴器購入費助成」について、来年度は助成額が1・5倍に拡充され、5年後の再申請も可能となったことを評価しました。

岸本区政のもと「ケアする人をケアする」観点から、ケア労働者の支援が前進しました。介護現場への実態調査に基づき、介護職員、介護支援専門員への居住支援の補助が実施されます。共産党区議団が提案してきたものです。

『議案第37号 令和8年度杉並区一般会計補正予算(第1号)』に対する賛否 (賛成32:反対14/可決)

会派 人数	自 8	共 6	公 6	立 5	シ 5	維 4	無 3	安 1	参 1	革 1	自 1	杉 1	無 1	杉 1	f 1	国 1	杉 1
賛否	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○

【賛否】○/賛成、×/反対、退/退席、欠/欠席。「維無」は1名が議長のため、賛否は3名のみ表明。
【会派の正式名称】自民/杉並区議会自由民主党、共産/日本共産党杉並区議団、立憲/立憲民主党杉並区議団、公明/杉並区議会公明党、シ杉/シスターフッド杉並、維無/維新・無所属議員団、無都/無所属・都民ファーストの会、安心/安心・安全杉並の会、参政/参政党杉並、革新/都政を革新する会、自由/日本自由党杉並、杉わ/杉並わくわく会議、無/無所属(編部)、杉ク/区政杉並クラブ、fr/far right、国民/杉並区議会国民民主党、杉立/杉並区議会立憲民主党。(2026(R08)年3月19日現在)

酒井まさえ地域後援会

みんなのつどい ぜひご参加ください!

南部

4月18日(土)

午前10時~12時

永福和泉地域区民センター

第1集会室

和泉3-8-18

北部

4月18日(土)

午後2時~4時

松/木2丁目第3アパート

集会室(松/木ふれあいの

家横)松/木2-14-3

連絡先 酒井まさえ 090-9325-5676





杉並区議会予算特別委員会 2026 3・17 補助133号線・善福寺川上流地下調節池について質疑しました

補助133号線は地域住民に及ぼす影響は大きい

補助133号線は都施行路線ですが、閑静な成田東、3・4丁目の住宅地を貫く計画であり、地域の生活環境への影響が非常に大きい路線です。沿道のまちづくりを担う自治体として区の役割は重要です。

Q 区として道路整備による地域の生活環境やまちづくりへの影響をどのように考え、都に伝えているか。

A 公益的な幹線道路として重要な道路だが、閑静な住宅街で住民に与える影響も大きいと認識している。引き続き、デザイン会議を通して、住民の声を都に伝える。

デザイン会議は都と住民を結ぶ役割

Q デザイン会議および運営会議の到達点と課題をどのように整理し、今後会議を継続していくための工夫や対応は。

A 不安や疑問に答え、情報を提供し、その後もまちづくりの基礎固めの講演会（3地域全体で）を開催してきた。

さらに、住民主体のまちづくりの取り組みとして、地域の実情に合わせて（仮称）デザイン会議を進め、都に住民の声を伝える。



道路整備にたよらない防災まちづくりを

Q 補助133号線は、防災上、必要性が指摘されているが、同地域は住宅地であり、災害時には地域コミュニティの存在が重要な役割を果たす。防災を道路整備だけに限定せず、コミュニティや地域資源を含めた総合的な防災まちづくりが求められるが、区としてどのように取り組むか。

A このような公共事業を行うには、地域住民の理解、協力が大事で、整備するしないの二者択一ではなく、地域の様々な立場の人が議論して行くことが重要。そして出された意見は、都に伝えて行く。

善福寺川上流地下調節池について 樹木への影響は最小限に！

2月27日、善福寺川緑地において住民、専門家、都担当者、区職員が参加し樹木確認会が行われました。住民側の学識経験者として、造園学・環境植栽学が専門の千葉大学名誉教授の藤井英二郎氏も参加され、樹木保全の観点から様々な指摘がありました。

Q 事業主体は東京都だが、地域の重要な緑地に関わる問題であり、区としての認識を問う。

A 重要なみどりであり、樹木への影響を最小限にするよう都に求めていく。

プラタナスは樹齢50年以上

Q 通称ロケット公園にあるプラタナスは、樹齢50年以上であり、移植前の準備である根鉢形成は行うのか都から説明を受けているか。

A 都からは可能な限り保全すると聞いている。

移植の適期は、落葉樹は秋以降、常葉樹は5～6月

Q 移植の時期について、都はどのような説明をしているか問う。

A これから説明がある。

樹木管理に番号を

Q 樹木に番号を付けることを求める。

A 都に検討するよう求める。

緑地の果たす役割は重要

Q 最後に、区として緑地の環境価値をどのように認識しているか問う。

A 緑地の果たす役割は重要、住民生活の場所として工事の影響を最小限にし、丁寧な説明と環境への配慮を求めていく。

Q 4月17日、18日の工事説明会は、着座で住民と都の話し合いができるように都に伝えるよう求める。

A 住民が参加しやすいように都に伝える。



ロケット公園の
プラタナス

健康の話 フレイルについて

フレイルとは、加齢により筋力や心身の活動が低下し健康と介護が必要な状態（虚弱）の間になる状態のことをいいます。放置すると介護の状態になってしまいます。

適切な運動とタンパク質の摂取などで予防・回復することができます。

フレイルには3つの種類があります。

① **身体的フレイル** 筋力低下（サルコペニア）、歩行速度の低下、疲れやすい

② **精神・心理的フレイル** うつ傾向、気力の低下、認知機能の軽度の低下

③ **社会的フレイル** 孤独、閉じこもり、経済的困窮

次のようなことが起きたら注意が必要です。

① 半年から1年で体重が4.5キロ以上減った。

② 以前に比べて歩く速度が遅くなった。

③ 何をするのも面倒だと週3から4日以上思う。

④ 重い荷物や重い荷物を運ぶのが大変になった。

⑤ ペットボトルのキャップをとるのが大変になった。

予防・改善方法は。

① **栄養** タンパク質をしっかりとること。肉・魚・豆腐・卵 栄養のバランスも考えて食事をとる。

② **運動** ウォーキング、筋トレ、プールで歩く・泳ぐ、定期的な運動をすること。

③ **社会参加** 趣味の集まりに参加、ボランティア活動をする。人と交流する。

みなさんの周りにフレイルが心配な方はいらっしゃいませんか。早めに気づくと回復も早いので声をかけてください。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください

